

令和7(2025)年度 環境県民会議活動方針

- 福岡県環境総合ビジョンに沿った6つの活動テーマ(下記1、2及び3)については、昨年度と同様、各主体が実施している取組(活動例参照)は継続して実施する。
- SDGs では 2025 年までに陸上活動由来等の海洋汚染の大幅削減を掲げている。海洋プラスチックごみの約 8 割は陸域で発生しており、この深刻な汚染を防ぐには、プラスチックを始めとする廃棄物の削減、そして資源を循環させる社会の実現が不可欠であることから、今年度は3(2)「循環型社会についての取組」を重点項目とする。

1 地域づくり・人づくりの推進

- ・ 取組実績や取組予定に関する情報を共有し、各委員の取組の参考とする。
- ・ 県民会議の活動方針を各委員が所属する団体内で共有し、実践を促進することにより、環境保全の取組を県内各地域へ広げていく。

2 グリーン化の推進

- ・ 日用品、事務用品、設備等の調達において、環境負荷ができるだけ少ないものを選ぶ。
- ・ 環境配慮型のビジネススタイルへの転換、商品・サービスの開発・普及に努める。

3 環境保全に係る各構成団体の自主的取組の推進

(1) 脱炭素社会についての取組

(活動例)

- ・ 多様なエネルギーの利用(再生可能エネルギーの導入・活用など)
- ・ ソフト面やハード面での省エネの推進
- ・ 公共交通機関や自転車等の利用促進
- ・ エコファミリーやエコ事業所への登録、福岡カーボンクレジット倶楽部への入会
- ・ 吸収源対策の推進(緑化・植林活動への参加・県産木材の利用など)
- ・ 気候変動の影響への適応(熱中症対策の推進など)

(2) 循環型社会についての取組

(活動例)

- ・ プラスチック資源循環の促進(使い捨てプラの使用削減、プラ代替品の利用促進など)
- ・ 食品ロス削減に向けた取組(食べもの余らせん隊の登録・利用促進、フードバンク団体との連携など)
- ・ 廃棄物の発生を抑制する取組(用紙削減やマイバッグ、マイボトルの持参など)
- ・ リユースを促進する取組(リターナブル容器の積極活用など)
- ・ リサイクルを促進する取組(リサイクル製品の優先利用や資源物の回収など)
- ・ 廃棄物の適正処理の推進(ごみの分別徹底、ポイ捨て撲滅の取組など)
- ・ 環境美化活動の推進(事業所周辺や公園・河川・海岸の清掃など)

(3) 自然共生社会・ワンヘルスについての取組

(活動例)

- ・ 里地里山里海の保全活動(植林への協力や干潟等の保全活動など)
- ・ 身近な自然環境について理解を深める活動や保全を行う取組(希少野生動植物種・外来種等への理解促進、事業所内緑化、自然観察会の実施など)

(4) 快適な生活環境の形成

(活動例)

- ・ 心地よい空気・水・土・居住環境の保全に関する取組(エコドライブの実践、生活排水対策、有害物質の削減など)